

医療的ケア 手技・管理 標準案

口腔・鼻腔内吸引	吸引時間	15秒以内/回
	洗い流し	水道水
	保管方法	<p>①吸引前にチューブの外側をアルコール綿やウエットティッシュで拭き取る。 <◆吸引する> ①チューブの外側についている分泌物をアルコール綿やウエットティッシュで拭き取る。 ②水道水を吸引し洗い流す。 ③袋や蓋つき容器に入れて保管する。</p> <p>*保管方法はドライ法 *水道水は、1日1回以上の頻度で交換する</p>
機器管理方法	<p>・吸引ビン ・吸引する水道水を入れる容器 ・チューブを保管する容器 →1日1回食器用洗剤で洗浄し、乾燥させる</p> <p>・吸引チューブ →1～3日に1回交換 消毒する場合は、ミルトンに浸漬(1時間以上)後、乾燥させる</p>	
気管内吸引	吸引時間	10秒以内/回 *災害避難時など、手洗いや手指消毒ができない場合には手袋(未滅菌)を使用
	洗い流し	水道水
	保管方法	<p>①吸引前にチューブの外側をアルコール綿やウエットティッシュで拭き取る。 <◆吸引する> ①チューブの外側についている分泌物をアルコール綿やウエットティッシュで拭き取る。 ②水道水を吸引し洗い流す。 ③袋や蓋つき容器に入れて保管する。</p> <p>*保管方法はドライ法 *水道水は、1日1回以上の頻度で交換する</p>
機器管理方法	<p>・吸引ビン ・吸引する水道水を入れる容器 ・チューブを保管する容器 →1日1回食器用洗剤で洗浄し、乾燥させる</p> <p>・吸引チューブ →1日1回交換</p> <p>*吸引する水道水はできるだけ毎回捨てる。外出先では容器に入れてきた水道水をコップなどに移し替えて使用し、使用后コップに残った水道水は捨てる、などで対応できると良い。</p>	

【備考】

☆吸引チューブから吸引器までをつなぐ接続管(太いチューブ)を消毒する場合は、ミルトンに浸漬(1時間以上)後、乾燥する方法などがある。

☆破損や汚れなどで新たに接続管が必要な場合は、吸引器を購入した業者に問い合わせる。

☆人工呼吸器用の人工鼻(加湿器を使用しない場合のみ使用可)は、医療機関から渡す場合、業者から渡す場合、とがあり物品の種類によって異なる。

気管切開部のケア	人工鼻	1日1回交換を原則とする。
	気切帯	<ul style="list-style-type: none"> ・固定ひも型 ・マジックテープ型 ・市販品 <p>*乳児ではサイズが合わない場合が多いが、今後の利用の可能性を考慮し、市販品の気切帯があることも説明する。</p>
	交換頻度	<ul style="list-style-type: none"> ・気切帯 :1日1回交換 ・ガーゼ :1日1回交換 ・気切カニユレ:2~4週に1回交換 <p>*ガーゼは滅菌ガーゼでなくてよい。</p>
経鼻チューブ・胃ろう	注入終了後	水道水を注入する。 (注入量は、症例によって異なる)
	胃ろうケア	<p>固定水の確認:1週間に1回程度</p> <ul style="list-style-type: none"> *固定水確認の際のシリンジは、胃ろうキットに梱包されているものを使用する。 *胃ろうキットに梱包されているガイドワイヤーは、必要に応じて使用する(胃ろう交換時)。 *胃ろう孔のガーゼはなくても良い。ティッシュこよりなどを利用し、こまめに交換する。 *胃ろう孔周囲の皮膚が栄養剤などで汚れた場合は、その都度清拭する。
注入物品	保管方法 管理方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ボトル・イリゲーター (直接こすり洗いできるもの) ➡毎回食器用洗剤で洗浄し、乾燥させる。 (2~4週間に1回交換) ・チューブ・栄養セット (直接こすり洗いできないもの) ➡温水で洗浄し、ミルトン浸漬(1時間以上)後、乾燥させる。 (1~2週間に1回交換) ・シリンジ ➡食器用洗剤で洗浄する。 (1週間に1回を目安に交換) *滑りが悪くなれば交換する。 *ミルトン浸漬や乾燥機での乾燥を避けると、シリンジの滑りは長持ちする。 <p>*フィーディングバッグは、原則として単回使用のみとし、再利用はしない。</p>

★医療的ケア児が地域で家族と一緒に安心して生活するためには、医療機関同士のみならず、教育、福祉の現場も含めて、医療的ケアの実践方法を揃えることが大切です。